



稲刈り大収穫祭

おやこde農体験 「ここあファーム大収穫祭」



足踏み脱穀機を体験



上手に稲刈りできたよ!



親子で稲刈り



野菜収穫



昼食のカレー



新米で作ったカレー



みんなで楽しくバーベキュー

連合愛知30周年を機にスタートし、今年で開園5年目を迎えた「ここあファーム」では「みんぱた」の協力のもと、組合員とその家族が田植えや野菜の収穫など農業体験を通じて、食育を学び自然に触れあえる場として毎年農業体験イベントを開催しています。

本年は11月5日(日)に「稲刈り大収穫祭」を加盟組合員とその家族が参加しました。また、今年初の取り組みとして「県民の日 学校ホリデー」に併わせ11月24日(金)に、就職・進学支度支援金を贈呈して児童養護施設の児童69名を招待して「芋ほり大収穫祭」を開催しました。

「稻刈り大収穫祭」では、「稻がお米に変わるまで」について学習を行い、その後、鎌を使った稲刈りや足踏み脱穀機での脱穀、とうみ掛けなど、昔ながらの農作業を体験しました。当日は炊き立ての新米で

作ったカレーやみんぱた特製ソーセージをみんなで食べました。参加者からは「今まで触ったことが無い脱穀器などの体験もあり、お米の作り方が学べて良かった」、「1年を通じてお米が作られる大変さを知り、これからは大切にお米を食べさせたい」との声が寄せられました。

「芋ほり大収穫祭」では、サツマイモの栽培方法や品種による違いなどを学んだ後、メインイベントとなる芋ほり体験を行い、土の中からサツマイモが顔を出すと参加者から大きな歓声が上がりました。体験後には「焼き芋」やカレー、バーベキューを行い、参加した子ども達のたくさんの笑顔を見ることが出来ました。

今年収穫したお米とサツマイモは、フードバンクに取り組むNPO法人「セカンドハーベスト名古屋」へ贈呈し、食料支援の必要なご家庭や福祉施設へ提供されます。(贈呈式の模様は3ページ掲載)

「いしづえ碑」に新たに3柱を合葬

第62回愛知県社会運動家顕彰追悼祭を挙行

可知会長が委員長を務める、愛知県社会運動家顕彰委員会は、11月10日(金)に鶴舞公園内いしづえ碑前において「愛知県社会運動家顕彰追悼祭」を執り行いました。

この委員会は、愛知県内において労働運動や社会運動、平和と民主主義を守る諸活動に長年にわたってご尽力され、志半ばにして倒れられた同志の方々を顕彰し、そのご遺族の皆様を励ますことを目的に設置されています。

可知委員長の挨拶の後、竹内副委員長より新合葬者銘板の奉納、参加者による献花が行われました。



本年は故 村松 靖朗様、故 算浦 善夫様、故 足立 晃久様を新しく御靈に加え、銘板にその名を刻んで「いしづえ碑」に奉納しました。

東海ブロック全体でジェンダー平等に向け推進を図る

2023連合東海ブロック女性会議

11月10日(金)、グランコート名古屋において2023連合東海ブロック女性会議を開催し、連合本部・東海ブロック地方連合会(長野、静岡、岐阜、三重、愛知)から合わせて31名が参加しました。

冒頭、連合本部より2024春季生活闘争方針におけるジェンダー平等課題に対し、男女間賃金格差の是正やハラスマント対策に取り組みつつ多様性が尊重される職場・社会の実現をめざしていくとの説明と共に「ジェンダー主流化」を進めるために連合版「ジェンダー監査」が公開されました。

講演では「ジェンダーメがねで社会をみてみれば」と題し、NPO法人浜松男女共同参画推進協会 理事長 道喜 道恵 氏の話を聞き、自分自身のアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)を体感し、これまで意識していなかったものを自覚化し「見える化」していくために「ジェンダーメがね」が必要。ジェンダーの視点は、男らしさ、女

らしさではなく「自分らしさ」であることを意識していく必要があると話された。

その後のグループ討議では、講演を聞いたうえで「今後ジェンダー平等にどのように取り組むか」について活発な意見交換が行われました。

会議の最後には、今後もそれぞれの地方連合会がジェンダー平等の取り組みを推進するために連携することを確認しました。



労災ゼロをめざして

安全衛生センター 第35回総会

連合愛知安全衛生センターは、11月28日(火)に中小企業振興会館(吹上ホール)において、「第35回総会」を開催しました。

開会にあたり、近藤理事長よりご協力いただいている構成組織への感謝と愛知県の労働災害の現状について触れられ、「私たち働く者にとって、安全と健康を維持・確保して行くことは、最も重要なテーマです。我々の活動計画に対して、皆様から積極的な補強意見を頂



きたい」との挨拶がありました。

総会では、2023年度の活動報告、決算報告の後、2024~2025年度活動計画(案)、予算(案)、2024~2025年度役員(案)を審議し、各案とも満場一致で承認・可決されました。

「シニアクラブ」へ名称変更してから初の総会

シニアクラブ「第33回定期総会」

連合愛知シニアクラブは11月29日(水)、日本特殊陶業市民会館において、約680名が参加し、第33回定期総会を開催しました。

冒頭、シニアクラブの福重会長より「65歳以上の高齢者は総人口の約3割を占めている。そこでの問題は『ソーシャルフレイル』が生まれ、孤独・孤立になってしまうことです。人生100年時代を迎えると言われているが、健康と社会とのつながりを維持することが大切です。シニアクラブも生涯ネットワークの構築や連合愛知の社会貢献にも参画していきます。『明るく、楽しく、元気よく』行きましょう」と挨拶がありました。

その後、2023年度活動報告が行われ、2024年度活動方針(案)、2024~25年度役員選出(案)、総会アピール(案)が提案され、満場一致

で承認・可決されました。

総会後には講演として、愛知県警防犯活動専門チーム「のぞみ」による防犯寸劇で特殊詐欺への注意を促すとともに、おたのしみ演芸会では、バラクーダ 岡本圭司氏による「ミュージックショー」が行われ、参加者全員が楽しいひとときを過ごされました。

参加者からは「警察による講演はためになった」「楽しい演芸会であった」との声をいただきました。



セカンドハーベスト名古屋へ新米などをお届け

ここあファームで収穫した新米、サツマイモ、カブを贈呈

11月30日(木)、ここあファームで収穫された農作物(新米420kg・サツマイモ44.2kg・カブ22.9kg)を、NPO法人「セカンドハーベスト名古屋」へ贈呈しました。

贈呈式では、連合愛知 中島事務局長より「2020年から毎年お届けしているここあファームで収穫したお米の贈呈は今年で4回目です。今年は、猛暑のなかで農作業をされた障害者デイサービス・Goodの皆さんには大変だったと思いますが、新米をお届けすることができました。困っている方々のお役に立てれば幸いですし、新米を味わっていただけたらと思います。」とメッセージが伝えられました。



働くことについて考える機会に

2023連合愛知大学寄付講座を開講

連合愛知ではこれから社会に出る大学生を対象に「労働組合の役割や労働運動の意義を理解してもらう」、「ワークルールの知識を身につける」、「様々な仕事について知つてもらう」事を目的に2019年度より大学寄付講座を行っています。

5年目となる今年度は、学生・大学の要望や時代の変化を踏まえたテーマで、愛知県立大学にて全15回の講義を10月より開講しました。

寄付講座におけるテーマの一つである、「様々な仕事について知つてもらう」講義として最前線にて活躍されている各構成組織・加盟組合から紹介をいたいたいた4名の皆さんにご登壇いただき、ご自身のお仕事や、労働組合の取り組み事例をご紹介いただきました。

寄付講座を通じ、学生への就労観の形成や若年者の早期離職といった社会的問題の解消に向けた取り組みを進めていきます。

第4回講座(10/23)

モノづくり・ひとづくり・地域づくり—労働現場から学ぶ—①

スピーカー:小栗 颯氏・兼子 清加氏・後藤 学氏(全トヨタ労働組合連合会 部長)
・講師3名が在籍する自動車産業を構成する「部品メーカー」「エンジン・ユニットメーカー」「完成車メーカー」について、会社紹介や一日の仕事の流れ、会社の福利厚生について、これまで働いてきて得られた様々な経験等を紹介されました。



モノづくり・ひとづくり・地域づくり—労働現場から学ぶ—②

スピーカー:那須 優司 氏(情報労連 NTT労働組合東海総支部 執行委員)
・NTTグループの業務内容や未来展望について、講師自身の現在の働き方の紹介のほか、これから就職を控えた学生達にとって必要となる、非言語コミュニケーション(身体感覚的な要素が与える印象)について話されました。



途上国の子どもたちに学びの場を

“世界寺子屋運動”書き損じはがきキャンペーンへのご協力のお願い

連合愛知は、「世界の識字率向上を図る」など教育支援として「書き損じはがきキャンペーン」を展開し、累計55万枚の寄付を行ってきました。本年度も以下の通りキャンペーンを実施しますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

- キャンペーン期間 2023年12月1日(金)～2024年2月29日(木)
- キャンペーン内容 構成組織にて回収BOXを利用し、書き損じはがき・未使用はがきの回収をお願いいたします。
※切手・金券(例:テレホンカード・クオカード・

商品券等の未使用品)も回収いたします。

■書き損じはがき・金券等の使途

世界寺子屋運動名古屋実行委員会に寄付し、同委員会で資金化され、日本ユネスコ協会連盟を通じ、発展途上国の子どもたちの教材や学校設立の資金となります。



あなたの職場で働くすべての人と家族の
こころの相談室

心の相談室

電話相談 052(618)7831
専用電話 月／15:00～19:00 水／12:00～19:00 金／16:00～20:00
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。
面接相談 場所／(社)日本産業カウンセラー協会中部支部
※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

第2回(拡大)執行委員会

2023年11月29日

議事

- 1.連合愛知 専従職員の採用について
- 2.連合本部 地方連合会オルガナイザーの登録について
- 3.2024~2025年度 各種審議会・委員会等への派遣について
- 4.構成組織の組織拡大に伴う新規の連合加盟について
- 5.第50回衆議院選挙東海ブロック相互推薦候補者(第2次)について

確認事項

- 1.各種委員会の委員交代について
- 2.2024年度 年間活動計画について
- 3.地協代表の交代について
- 4.2024年度構成組織・地域協議会名簿修正のお願い
- 5.「ACTION PLAN AICHI-IV」2023年度の進捗状況調査について
- 6.2024春季生活闘争「中小労組学習会」の開催について
- 7.政策実現塾の開校及び塾生の募集について

報告事項

- 1.連合本部関係
- 2.連合東海ブロック関係
- 3.連合愛知関係
- 4.地域協議会関係
- 5.行政及び友誼団体関係

その他

- 1.常任執行委員会の代理者について
- 2.連合・連合愛知SNS等の登録について
- 3.政治研修会用資料の展開について
- 4.当面の日程について



連合愛知SNS登録のお願い

ホームページ



YouTubeチャンネル



タップする

Facebook



タップする



Instagram



タップする

「もしも」に備え「もしも」を防ぎ

「もしも」に向き合う。



こくみん共済 NEWS

公式キャラクター
ビットくん

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP